

た ま に 、 母 校 を 思 い 出 そ う

岡山白陵 中 高 同 窓 会 報

発行：岡山白陵同窓会
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588
TEL:086-995-1255



岡山白陵同窓会
三木省吾先生之像

第24号

平成28年9月1日

Contents

ごあいさつ	2
東京同窓会(東京碧翠会)開催報告	3
第3回 岡山白陵同窓会総会のご案内	4-5
新任紹介	6
同窓会開催報告(3期生・36期生)	7
全国ディベート選手権中学の部優勝	8
同窓会会員名簿改訂作業中	8



同窓会会員名簿 改訂作業中

第3回 岡山白陵同窓会総会開催! 2016年11月12日(土)ラヴィール岡山にて





ご挨拶



会長
大津 正和
MASAKAZU OTSU

今年(2016年)前半の大きなニュースに、イギリスの国民投票でEU離脱派が過半数を獲得したというのがありました。岡山白陵は修学旅行(海外研修)でイギリス訪問をしていたり、ご縁のある国での出来事ですから無関心ではられません。国民投票直前までは、何のかんの言っても残留するだろうといった意見が多かったので、大きな驚きでした。経済にとって大きなショックで、外国為替市場でポンドが大幅に値を下げました。ポンド安で、修学旅行の費用が安くなるから、日本人にとっては、短期的には良い面もありますが、長期的には不透明です。もちろん、EUからの離脱そのものが史上初の出来事ですし、手続きに2年もの期間を必要とするということですから、今後の推移から目を離せません。しかし、イギリスからEU向けの輸出に関税が課されたり、金融活動に規制が設けられたりすれば、イギリスの経済活動にとってはマイナス要因となって、国内が不安定化してしまうかも知れません。平和で無理のないEU離脱となることを願うしかありません。

ところで、事前の予想に反して、なぜEU離脱派が過半数を獲得してしまったのでしょうか。様々な要因が考えられますが、有権者であるイギリス国民の認識として、EUに参加していることがもたらす利点よりも負担を大きなものだと感じてしまっていたという点も大きな理由のひとつでしょう。残念ながら、我々人間は一般的に、何に対しても得ているメリットや恩恵は当たり前と感じる一方で、負わねばならないデメリットや負担は大きく感じてできれば回避したいと考えてしまう傾向があるようです。集団や組織は、個人が単独では達成できないような成果を生み出すことが可能になるので形成されます。ひとりぼっちではびくともしないような大きく重いものでも、数人が力を合わせれば動かすことができます。単独では負けてしまう敵も、集団で当たれば追い払うことができます。交代すれば24時間の監視行動が可能ですが、個人

だと身体が保ちません。人間は、集団や組織を形成し、それに所属することで、個人では不可能なことを可能にするのです。もちろん、集団や組織の中では、メンバーとして一定の役割を果たすように、負担を求められます。ところが、このような負担が過大だと感じられると、離脱を志向するようになってしまいます。イギリスの国民投票でも、離脱支持派がEUに対する負担を大袈裟に宣伝したことで離脱票が伸びたということがあったようです。ところが、いざ離脱が決定すると、離脱に伴うデメリットに気が付き、そんなつもりじゃなかったと言う人々が出てきたようです。

同窓会という組織は、どうでしょう。企業や学校あるいはEUのように生活や社会活動に大きく関わっている集団や組織とは違って、そこに属していないと仕事ができない、資格が得られない、あるいは経済活動に支障が出るといった直接性は弱いですが、離脱(脱退)を宣言しなくても無視していれば負担を求められることもありません(会費は卒業時に納入済み)。しかし、会員の誰かが活動を担わないと、同窓会は何も活動できません。全員が単に名簿に名前が載っているだけでは、文字通りの名ばかり同窓会になってしまいます。皆が、面倒くさいとか、なぜ私がそんなことをしなければならないなどといった「離脱意識」を持っているとそうになってしまいます。確かに、同窓会がもたらすメリットはそんなに大きなものではないかも知れません。一方で、負担感は過大に感じられてしまうかも知れません。しかし、皆さんの「青春の証」が、細く長く、ここにはあります。会員皆が、それぞれ可能な範囲で負担を分かち合っていくと、同窓会は維持できます。まもなく、岡山白陵同窓会も40周年を迎えます。それなりの歴史を持った同窓会になってきています。皆さんの「青春の証」を維持していくためにも、皆さんには「参加意識」をもって同窓会活動に積極的に関わって下さることをお願いいたします。

新たなスタート



校長
大森 博幸
HIROYUKI OMORI

昭和51年に産声をあげた岡山白陵中学校・高等学校は今年40周年を迎えました。1期生から38期生までの卒業生の努力と母校への思いが現在の岡山白陵を築いてきました。心より感謝すると同時に、この節目に新たな思いを持って、スタートを切りたいと思っています。6月25日に東京ドーム横の後楽園飯店において第4回岡山白陵東京同窓会(東京碧翠会)が100名程の参加で開かれました。会長沢田和昌君(3期)、事務局長山本浩平君(26期)をはじめとする幹事諸氏の尽力に頭が下がる思いを持ちました。立ち上げの時は、私が半ば強引に田中祥雅君(6期)を会長に指名し、後白一樹君(22期)を事務局長に、そして、その他数名の幹事もほとんど私が決めましたが、今は完全に独り立ちしたように感じています。たくさんの同窓生に囲まれて、昔話を花を咲かせ、それぞれの今を語り合う時、私は至福の喜びを感じます。教え子たちから

「エネルギーをもらっている」と実感します。11月12日には、岡山で同窓会総会が開催されます。東京同窓会に岡山や大阪からも出席している方がおられます。岡山での同窓会にも全国各地から岡山白陵40周年を祝って集ってください。最近、卒業生が皆、同じようなことを言います。それは「在学していた時には特に意識していなかったけれども、社会に出て、いろいろな局面で、岡山白陵で培ったことが生きている」ということです。そのような話を聞く度に私は目頭が熱くなります。「36年間ずっとこの岡山白陵に勤めて良かったな」という実感と「これからもまだまだ頑張るぞ」という元気が湧いてきます。今後とも、ご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。卒業生諸氏の今後益々の発展、健康、活躍を祈念いたします。

同窓会便り

第4回 東京同窓会

岡山白陵同窓生の皆さまこんにちは。3期の沢田和昌と申します。この場をお借りして、恒例となりました東京碧翠会主催の第4回東京同窓会について報告いたします。

第4回同窓会は、東京ドームシティ内にある「後楽園飯店」にて、6月25日(土)に開催しました。母校からは大森校長をはじめ5名の先生と首都圏在住の同窓生、加えて関西方面の卒業生も駆けつけていただき、総勢91名が集う過去最大人数の同窓会となりました。

今回の同窓会を開くにあたり、同窓会幹事メンバーが腐心したことは「何を目的とした同窓会」にするのかということでした。仕事、学業等日々忙しいメンバーが平日夜に幾度となく都内に参集し、議論を重ねた結論は「首都圏在住の現役学生を応援する会にしよう」ということでした。多くの学生に参加してもらい、この同窓会でいっぱい

先輩と話をしてもらい、学生にとって何らかの気づきが得られる会であれば、との考えです。おかげさまで、学生代表の36期神崎さん、37期鷹家さんの活躍により、27名もの学生が参加してくれました。先輩社会人から少しは気づきが与えられたのではと思います。



執筆者 3期 沢田 和昌

ただ、正直申しますと今回、最も多くのギフトをもらったのは私だったかも知れません。優秀でパワフル、そして世代を超えた幹事メンバーとコラボレーションすることが、いつもと違う頭を使え、心から楽しめました。7期福井さん、18期川中さん、25期宮川さん、26期山本さん、おっさんを引っ張っていただき、ありがとうございました。

来期は7期の北村伸さんが会長で、6月24日(土)開催予定です。首都圏在住の方だけでなく、東京の同窓会に参加してみたいという方も大歓迎です。是非、東京同窓会に参加ください。



第3回 岡山白陵 同窓会総会案内



岡山白陵同窓会
副会長
永原 琢朗
(9期生)

岡山白陵同窓会の皆さんお元気ですか？
 この度、40周年の式典を挙げる事となり、ご案内差し上げる運びとなりました。一口に40年とは言っても、本当に永い年月です。「企業寿命30年説」という文字を日にする方もおられることと思います。
 これは創業者（創立者）の掲げた理念・フィロソフィーが薄まった、もしくは継承されないことに起因していることが大抵です。
 三木省吾園長は、若くして、思いがけず亡くなられてしまいました。園長そのものが生ける理念と思えるほどの強烈なカリスマでした。
 その後の岡山白陵の発展・活躍ぶりは皆さんご存知の通りです。ひとえに三木園長の指示した理念の実現を目指し、先生と生徒が一丸となって頑張ってきたからに他なりません。地道な努力を積み重ねてこられた先生方に改めて心より御礼申し上げます。そして卒業生は多方面且つ世界中で活躍しています。
 かの有名な陽明学者安岡正篤氏は「縁尋機妙多逢聖因」という言葉を残しています。人間はできるだけいい機会、いい場所、いい人、いい書物に会うことを考えなければならない。いい人に交わっていると良い結果に恵まれる。という意味です。
 我が同窓会が、まさにそんな場所になりつつあると感じています。昨年には初の生え抜きの校長として大森博幸先生が就任されました。抜群の行動力と統率力で、学校を更に一段上のレベルに押し上げようと努力しておられます。今回の集いが、同窓会がより団結して学校を盛りたてていくきっかけになること、祈念しております！



写真は第2回同窓会総会より

- 会場** ラヴィール岡山 3階 嘉祥の間
住所：岡山市北区駅元町1-10
TEL：086-231-1101
- 日時** 平成28年11月12日(土)
総会 18:00～
- 会費** 社会人 5,000円 学生 3,000円
- 申込締切** 平成28年10月25日
- 申込方法** 同封の振込用紙にてお申し込み下さい。なお用紙は学生の方用と社会人の方用とに分かれています。適宜、ご利用下さい。

※振込をもって参加確定となりますので、振込忘れの無いようにお願いします。

出席される先生については
決定次第同窓会のホームページに掲載いたします

お問合せ先 ▶ 小野高速印刷(株)
電話：0120-66-7754
(平日 9:00～12:00 13:00～16:30)
FAX:0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info

必ず学校名をお書き下さい



新任紹介

Introduction of new teacher



Okano Eriko
21期 岡野衣里子

今年度より中学1年の担任として勤めさせていただいております。また学生時代には演劇部を立ち上げましたが、教員として顧問となりました。要は作ったのだから面倒を見ないね?というところでしょうか。20年前と変わらず岡白生として奮闘する生徒たちと日々楽しんでおります。



Sakai Shigeki
30期 酒井 茂樹

こんにちは、酒井茂樹です。私は30期の卒業生で、縁があってこの岡山白陵に戻ってくることになりました。現在、中学一年生の担任で、数学の授業を担当しています。部活動はテニス部の顧問をしていますが、テニスの経験は無いので練習して上手くなれたらと思っています。在学時と校舎が建て替わっているなど慣れない部分も多いですが、今後ともよろしくお願いたします。



Takeda Daisuke
30期 武田 大典

岡山白陵高等学校第30期卒業生の武田大典です。現在は中学2年生の担任と、中学2年・3年の理科を担当し、科学部の顧問をしています。教員として、母校の後輩たちを直接指導できることに大変やりがいを感じています。経験不足で周りの先生方に助けていただくことが多いですが、精いっぱい頑張っていきます。



Sato Tatsunari
34期 佐藤 達成

34期の佐藤です。予てからの願いを叶え、母校に戻ることができました。様々な人との出会いに感謝しております。授業や部活指導など、とても充実しています。後はプライベートが充実すれば文句なしなのですがそう上手くはいかないですね。若いうちにできることを精一杯して、日々奮闘します。よろしくお願いたします。



Kawakami Shouko
英語科教員 河上 祥子

平成28年度より岡山白陵で英語科教員として勤務することになりました。小学校卒業時までは大阪で育ち、その後岡山白陵に6年間在籍いたしました。卒業後は、大阪大学文学部に進学し、英米文学・英語学を専攻しました。4年次に卒業論文を書く際には、教授に自分の英語論文を見せに行くたびに厳しいご指導をいただいたことをよく覚えています。また昨年の6月には本校で教育実習を行い、先生方のご指導のもと実りある3週間を過ごさせていただきました。その中で、学生時代には気づかなかった本校の良さを改めて見直し、卒業して本校に戻って教員をしたいと強く思うようになりました。大学時代、他校の友人に本校のイメージを聞くと、必ず返ってくる答えが「厳しい学校」というものでした。それは決して間違いではありませんが、私自身厳しくも温かい先生方に囲まれて日々充実した6年間を過ごせたと思っています。厳しくも温かい6年間で得たことを、教員として、あるいは本校での先輩として、生徒たち1人1人に伝えていけたらと思っています。

同窓会開催報告

dousoukai kaisai houkoku

3期生

去る8月13日に姫路で3期生35周年同窓会を行いました。若かりし日々を一緒に過ごした皆さんと、久方ぶりにワイワイ旧交を温めることができました。

性急な同窓会開催計画にも関わらず、遠方からわざわざ来てくれた人達、忙しい中、予定をやり繰りしてくれた人、会開催の連絡に協力してくれた人達がいたことは、ありがたいことでした。

姿・形は変わっても、中身は高校時代と変わらないことを確認でき、懐かしさもひとしおでした。

卒業者45人と少人数の同期ですが、予想外に多くの人達が集まってくれました。卒業後35年経過した今も、当時と変わらない岡崎先生にお会いできたことも感激でした。

今後も、定期的に来られたらと思っています。

(幹事一同)



36期生

成人式後、岡山駅近くのレストランで36期生の同窓会が開かれました。私たちの代は何かというと岡山や東京で同窓会を開いているようです。ようすというの、私にとっては今回が初参加でしたので、この日卒業式以来2年ぶりに会う同期がほとんどでした。女子はのきなみ全員キレイになっていて(成人式仕様のお化粧品パワーのおかげです)、それでも一言二言言葉を交わせれば全く中身は変わっておらず、男子は見た目も中身も全く変わっておらず、学年主任の志水先生によく呆れ顔をされていた、あの仲良しの我々のまま再会できたことを心から嬉しく思います。

懐かしがってばかりいる人を揶揄するような風潮が根強くて心が痛みますが、私自身も上京して以来、「いつまでたっても高校同期が最高の友達!」という趣旨の発言は、今経験している現在の密度が低いとか、新しい世界で十分に魅力的な人たちと出会えていないということの意味するのだからちょっとダサいんじゃない? と感じる節がありました。た



1月11日 in 岡山

遅まきながら新成人おめでとう!



だ、今回の同窓会をきっかけに、もちろん今が充実しているのはとても素晴らしいことだけれど、現在が楽しいからといって過去の価値が減るといのはあまりに直線的な考えだということに気づかされた気がします。成人を迎えたばかりの小娘が諸先輩たちの読まれる同窓会報にわかったようなことを書くのは大変恐縮なのですが、過去や過去に関する思い出は、単にノスタルジーで昔の甘い記憶に浸る快感というだけではなく、現在の位置からその都度新しく解釈され直して今の自分の助けになってくれる、非常にパワフルなものですね。岡山白陵で過ごした時間は、振り返るたび私の中に何度でも立ち上がってくるほどしっかりとした体重を持っていますし、同窓生も私と同じように感じていると思います。

もうあの頃には戻れないのね、ちょっとだけさみしい、でもみんな健康で幸せでいてね、私も前を向いて走るからできれば私の幸せも願っててください!という気持ちで文字通り胸がいっぱいになる、素晴らしい同窓会でした。幹事をしてくれた坂井くん、本当にありがとう。(玉越 水緒)

母校便り



6年ぶり! 全国ディベート選手権中学の部優勝!!



近年毎年のようにその活躍をこの同窓会報でもお知らせしているディベート同好会ですが、今年は更にやってくれました! 中高同時出場した第21回全国中学高校ディベート選手権大会において、中学の部で6年ぶりの栄光を勝ち得ました。「日本は地方公共団体の首長の多選を禁止すべきである。是か非か」という難しい論題でしたが、ジャッジの先生からも「ディベート甲子園史に残る試合」と絶賛された決勝戦を見事4-1の圧倒的な評価で勝つての優勝です。その感想を、メンバーの一人山本梓紗さんに寄せていただきました。



まず、今まで支えて下さった方々、本当に有難うございます。私達にとっては初めての全国大会で、議論の質や緊張感の高さに戸惑うこともありました。ですが半年間悩み、考え抜いた論を上手く展開し、戦うことができました。チームワークの良さと綿密なりサーチが今回の勝因です。高校部でも更に深い議論を目指して頑張ります。

同窓会会員名簿改訂作業中

フォームメールURL▶

<https://ssl.dousou.info/1post/okahaku/>

名簿・賛助金・協賛広告のご予約について

- ・ 予約価格 1冊 3,500円 (送料・梱込み) ・ 賛助金 1口 10,000円 (名簿1冊進呈・巻末の芳名録に掲載) ・ 広告料金
- 仕 様: 平成28年までの卒業生約5,800名、現・旧教職員名簿、口絵写真及び50音別総索引、広告を収録
- 発 行: **平成28年11月末予定**

名簿作成専用
お問い合わせは

TEL 0120-66-7754 FAX 0120-81-2299

小野高速印刷(株) 岡山白陵同窓会名簿係

[受付時間] 9:00~12:00・13:00~16:30
(土曜・日曜・祝日を除く)

会員名簿住所調査のご協力ありがとうございます。11月発行予定で編集作業を進めております。会員名簿ご希望の方で申し込みがまだの方は是非この機会にお申し込みください。

岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL: 086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail dousoukai@okahaku.ed.jp

訂正とお詫び

会報23号(前号)の「最近5年間の大学入試状況」に誤りがありました。平成28年「私立大学医学部」は16名となっておりますが、正しくは45名でした。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

編集 Editor's note 後記

まず初めに、同窓会報第24号の発行に際して多くの方々からのご協力を賜りました。篤く御礼申し上げます。

改めまして、今年度より岡山白陵にて教鞭をとらせていただいております、34期の佐藤と申します。唐突に編集委員に任命され、至らない部分が多く感じられたと思われませんが、ご容赦いただければ幸いです。岡山白陵にて受け継がれてきた尊い精神を絶やすことの無いよう、日々努力を重ねて参ります。よろしくお願い致します。

さて、今年度は本校創立40周年の記念すべき年度であります。私が中学1年生の頃に本校が30周年を迎えたことは今でも鮮明に覚えています。当時配布された冊子に

「勤続～年目の教員」というページがあり、そこに載られている先生方を見て、「この先生、重鎮か…」と思ったこと、「陵友」の銅像、しおり、演奏会…、様々な思い出が蘇ってきます。今年度の行事も在校生だけではなく卒業生の心にも深く残るものとなれば素晴らしいと思います。

岡山白陵も時代の流れによって変化をしていると思います。しかし、変わらないもの、変えてはならないものは今でもやはり残っています。そういった「変わらない」ものを感じるために、ぜひ母校たる岡山白陵へお立ち寄り頂ければと思います。新任教員にも会いに来てくださいませ。

ありがとうございました。(34期 佐藤 達成)